

令和5年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	長居球技場
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	市民の健康増進と文化的な都市生活の確保に寄与することを目的とする。
業務の概要	各種競技大会やイベント開催など市民が身近にスポーツに触れることができ、また気軽に健康づくりや体力づくりを行う場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	一般社団法人セレッソ大阪スポーツクラブ
指定期間	令和3年4月1日～令和33年3月31日
評価対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

2 管理運営の成果・実績（球技場）

成果指標		利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		86.0%
達成率		107.5%

2 管理運営の成果・実績（南北練習場）

成果指標		利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		86.0%
達成率		107.5%

利用状況（球技場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	21.3%	39.2%	-17.9%

利用状況（北練習場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	73.5%	69.1%	4.4%

利用状況（南練習場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	77.7%	71.2%	6.5%

令和5年度 指定管理者年度評価シート

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	0	21,560,000	0	
	計画	0	0		
利用料金収入	実績	224,478,151	208,221,693	94,667,151	海ホッケークラブのドレーン、ラグビー7人制五輪予選等を誘致出来た為
	計画	129,811,000	129,811,000		
その他収入 （自主事業収入）	実績	428,166,748	363,638,656	142,166,748	広告収入、自主事業収入が当初の計画より大幅に上回った為
	計画	286,000,000	286,000,000		
合計	実績	652,644,899	593,420,349	236,833,899	
	計画	415,811,000	415,811,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	69,261,991	52,136,663	22,571,991	利用状況に応じて運営スタッフの配置を見直し増員したため
	計画	46,690,000	46,690,000		
物件費	実績	470,716,304	453,401,303	160,149,304	光熱水の高騰、東スタンドの修繕が計画より上回ったため
	計画	310,567,000	310,567,000		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	67,611,040	60,830,165	44,483,040	利用率や自主事業数増加に伴う経費増加
	計画	23,128,000	23,128,000		
合計	実績	607,589,335	566,368,131	227,204,335	
	計画	380,385,000	380,385,000		

令和5年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	107.5%	B	

（2）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・内部書類のペーパーレス化の推進 ・リモート会議推進による移動経費節減 ・カラーコピーの原則禁止 ・使用エリア以外の消灯指示 ・エアコン温度設定の省エネ意識強化 ・クールビズ及びウォームビズ推進によるエネルギーコスト削減	B	

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

○利用者からの要望、苦情、トラブル対応事例（主なもの）とその対応状況
・東スタンドの污水管が破損しており、東スタンドに5,000名以上観客が入った際にトイレの排水が詰まり使用出来なくなる。試合の際、污水管マンホールのバキュームカーによる汲み取りを実施して対応している。（早期の修繕工事が必要）
・スタジアム西側の都市計画道路にて夜間スケボー利用やたむろによる騒音苦情に対し、夜間の警備巡回強化、注意喚起看板の設置により対応。
・スタンドの位置や最寄り駅の方向が分かりづらいという声に対して、スタジアム場外に案内MAPを5カ所設置。
○利用者の意見や満足度の把握・反映の取り組み状況
・アンケート取得および集計（別紙①）により、利用者意見を把握。
・取得した意見をより良いサービス提供、ハード整備に反映させる。
・経年劣化による故障や不備には随時対応している。

6 外部専門家意見

昨年度に引き続き、利用料金収入やスタジアム本体及び会議室等の利用率は前年度から大幅に増となり、次年度への期待が持てる。引き続き利用率の向上を目指す中で、練習室の利用率向上についてもさらなる工夫を重ねられたい。
利用率の向上にあたり、直接業務・間接業務共に業務の効率化も図ってより収益性を向上させてほしい。
収支計画においては支出の計画進捗率が収入の進捗率を上回っていることから、管理費縮減に留意しつつ、さらなる利用者満足度の向上に取り組むことを期待する。
天然芝開放デーなど地域のイベントでの供用や会議室等の活用により、スポーツ機能以外で施設を活用し地域貢献にも寄与している。今後も引き続き、大型イベント施設としての側面だけでなく、地域に愛される施設としての側面も磨いていただきたい。
次年度については、各種試合の開催や教室事業に一層力を入れて取り組むとともに、予想される課題の解決および目標達成に尽力していただきたい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	R	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		

令和5年度 指定管理者年度評価シート

	事業計画の実施状況	C	
	施設の有効利用		
	社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価		B	